



【ニュースリリース】

2015年3月18日

「またかな」製作委員会

未来の日本を担う全国の中高生へ、無償で映画『またかな』をバリアフリー上映 クラウドファンディングサービスにて資金募集開始 「『またかな』学校上映プロジェクト」始動！

株式会社サイバーエージェント・クラウドファンディング（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中山亮太郎）の運営するクラウドファンディングプラットフォーム「Makuake」にて、全国の中学、高等学校、特別支援学校で、映画『「また、必ず会おう」と誰もが言った。』（「またかな」製作委員会[TBSサービス BS-TBS TCエンタテインメント]）のバリアフリー上映を無償で実施するための資金募集を、3月30日（月）より開始します。

■Makuake（マクアケ）プロジェクト URL <https://www.makuake.com/project/matakana/>

「『またかな』学校上映プロジェクト」は、この映画『「また、必ず会おう」と誰もが言った。』を企画プロデュースした(株)TBSサービスの川上孝裕が発起人となるプロジェクトです。

佐野岳初主演映画『「また、必ず会おう」と誰もが言った。』（略称『またかな』）は、青春映画の名手である古厩智之監督の2013年秋公開作品。（原作：喜多川泰[サンマーク出版刊]）熊本の高校生が主人公のこの青春ロードムービーは、年齢を問わず感動を届ける作品として各方面から高い評価を受け、中高生に見せたい映画No.1と称されました。

この映画を全国の学校で上映し、“未来の日本を担う若者達へ『またかな』のメッセージを届けたい！”、“学生にバリアフリー上映を体験してもらいたい！”との思いから、上映ディスクを有償で貸し出すシステムを作りました。しかし、学校側は文化活動の予算が非常に厳しく、その捻出、集金が困難である実情がありました。有償で観てもらうことで制作費や権利者への補償に充てている映画は、学校や図書館であっても有料貸出や補償金を上乗せした金額でDVD販売が行われており、無料利用を勧める事が出来ませんでした。

そこで、これらの問題を解決し映画文化を守りながら無償で学校上映ディスクの貸出を実施するために、費用の一部についてクラウドファンディングによる支援をお願いすることにさせて頂きました。

〈クラウドファンディングとは？〉

アイデアを実現したい実行者自らが、ネット上でプレゼンテーションすることで、そのアイデアに共感した不特定多数の支援者から支援金と想いを集められる仕組みです。

出資をしてくれた支援者に対して、金額ごとのリターン（お礼）が用意されています。

バリアフリー上映（視覚障害者対応日本語音声ガイド・聴覚障害者対応日本語字幕）による映画鑑賞体験と、教育者で講師でもある原作・喜多川泰氏のビデオメッセージを添えることで、教育コンテンツとしての新たな活用スタイルで学校上映を実施します。

【学校無償上映の実施要項】は、映画『またかな』公式サイト (<http://matakana.jp>) に掲示。

※写真、映画概要は、別紙を参照（下記担当にお問合せください）

お問合せ先 株式会社TBSサービス 「またかな」製作委員会 特殊上映利用担当・川上孝裕

TEL:03-3505-7170 / FAX:03-3505-7916 / Mail:t-kawaka@tbss.co.jp